

ABC-MART 売上月次推移コメント

2022年2月期(2021年3月1日～2022年2月28日)

3月度月次コメント

販売情報

既存店売上高は前年比+16.3%、全店売上高は前期比+19.4%となりました。
3月度は、前年に比べ土曜、日曜祝日がそれぞれ1日ずつ少ない曜日並びでした。
気温の上昇や緊急事態宣言が解除されたことによる人出の増加で、客数が徐々に増加しました。
新生活に伴う春物の需要が増え、特にスニーカー、キッズシューズが好調でした。

出退店情報

出店： 8店
退店： 4店
月末店舗数： 1,036店舗

4月度月次コメント

販売情報

既存店売上高は前年比+65.2%、全店売上高は前期比+162.0%となりました。
4月度は、昨年に比べ業況が大きく改善し、また気温の上昇が早く天候も良好であったため好調に推移しました。
25日の4都府県の緊急事態宣言の発出を皮切りに、160店舗の休業や206店舗の時短営業となったことから、
月後半の販売が鈍化しました。なお、前年は575店舗休業しており、既存店売上から除外しております。

出退店情報

出店： 6店
退店： 0店
月末店舗数： 1,042店舗

5月度月次コメント

販売情報

既存店売上高は前年比+7.3%、全店売上高は前期比+45.8%となりました。
5月度は、緊急事態宣言の発出が9都道府県に拡大しましたが、土日のみ休業等により営業を継続できたことから、
昨年に比べ売上は大きく伸長しました。直近の休業店舗は土日119店舗、平日47店舗(ピーク時160店舗)に留まりました。
なお、昨年はピーク時で570店舗休業しており、既存店売上から除外しております。
商品面では、キッズシューズやファッション系サンダルの販売が好調となりました。

出退店情報

出店： 2店
退店： 2店
月末店舗数： 1,042店舗

6月度月次コメント

販売情報

既存店売上高は前年比-15.6%、全店売上高は前期比-16.8%となりました。
6月度は、月後半の沖縄を除いた緊急事態宣言の解除を機に、ほぼ全店で通常営業に戻ったものの、前年の月初から見られた
緊急事態宣言明けの売上の反動増が非常に大きかったことから減収となりました。
客単価につきましては、全品値引きを行った前年に比べ伸長しました。
商品面では、引き続きファッション系サンダルとキッズシューズが好調であったこと、また品揃えが充実したアパレルの販売が好調でした。

出退店情報

出店： 3店
退店： 0店
月末店舗数： 1,045店舗

7月度月次コメント

販売情報

既存店売上高は前年比+9.2%、全店売上高は前期比+11.0%となりました。
7月度は、前年に比べ土曜が1日多い曜日並びでした。
例年よりも梅雨明けが早く、気温の上昇が早まったことから、店舗、オンラインいずれも、
サンダルを中心とした夏物商品の販売が好調となりました。

出退店情報

出店： 2店
退店： 2店
月末店舗数： 1,045店舗

8月度月次コメント

販売情報

既存店売上高は前年比-4.3%、全店売上高は前期比-3.6%となりました。
8月度は、前年に比べ土曜が1日少ない曜日並びでした。
新型コロナウイルスの感染急拡大により、旅行や帰省等の移動自粛の動きが全国に広がり、夏休み需要が低下しました。
商品別では、気温の高い日が続いたことから、スポーツアパレルと引き続きサンダルが好調となりました。

出退店情報

出店： 0店
退店： 2店
月末店舗数： 1,043店舗

ABC-MART 売上月次推移コメント

2022年2月期(2021年3月1日～2022年2月28日)

9月度月次コメント

販売情報

既存店売上高は前年比-4.8%、全店売上高は前期比-5.1%となりました。
9月度は、台風や大雨の影響は少なかったものの、緊急事態宣言の延長によるシルバーウィークの集客減が響きました。
商品別では、キッズシューズと、気温の低下によりスウェットシャツ等スポーツアパレルが好調でした。

出退店情報

出店: 4店
退店: 4店
月末店舗数: 1,043店舗

10月度月次コメント

販売情報

既存店売上高は前年比+3.1%、全店売上高は前期比+4.0%となりました。
10月度は、前年に比べ日曜が1日多い曜日並びでした。月初から各地で緊急事態宣言が解除となり、週末の人出が増えました。
月半ばの気温の低下により、秋物需要が高まりました。
商品別では、運動会需要によりキッズシューズが大変好調でした。テレビCMの宣伝効果もあり、レディースシューズも好調となりました。

出退店情報

出店: 13店
退店: 4店
月末店舗数: 1,052店舗

11月度月次コメント

販売情報

既存店売上高は前年比-0.9%、全店売上高は前期比-0.3%となりました。
11月度は、前年に比べ日曜が1日少ない曜日並びでした。
中旬以降気温が急激に低下したことや、施設等の営業が通常に戻る中、人出が増加しました。
ブラックフライデーセールによる需要喚起もあり、店舗の集客が伸びました。商品別では、オフィス需要で、ビジネスシューズ、レディースシューズが好調でした。

出退店情報

出店: 7店
退店: 0店
月末店舗数: 1,059店舗

12月度月次コメント

販売情報

既存店売上高は前年比+14.1%、全店売上高は前期比+14.5%となりました。
12月度は、月後半から北海道・東北・北陸エリアにおける降雪需要、クリスマスのギフト需要が高まり、インバウンド需要を除き、2年前のコロナ前の水準に近い状況となり、好調でした。
商品別では、リモートワーク解除によりビジネスシューズや商品単価が高めのファッションブーツの販売が好調となりました。

出退店情報

出店: 2店
退店: 0店
月末店舗数: 1,061店舗

1月度月次コメント

販売情報

既存店売上高は前年比+12.8%、全店売上高は前期比+13.5%となりました。
1月度は、年始商戦は昨年と比べ1日短い状況でしたが、比較的好調に推移しました。
月後半は、コロナ感染拡大の影響により客数が伸び悩みましたが、昨年より気温が低い日が続いており、また北日本を中心とした降雪により、単価が高めのブーツ類やアウターの販売が好調だったことから、客単価が上昇しました。

出退店情報

出店: 0店
退店: 4店
月末店舗数: 1,057店舗

2月度月次コメント

販売情報

既存店売上高は前年比-8.3%、全店売上高は前期比-7.9%となりました。
2月度は、前年に比べ全国的に気温の低い日が続き、春物の需要が伸び悩みました。
コロナ感染拡大により集客に大きな影響がありましたが、レディース・キッズ全品割引セールや新学期需要を取り込むための施策により、商品別では、レザーカジュアルやローファーの販売が好調となりました。

出退店情報

出店: 0店
退店: 4店
月末店舗数: 1,053店舗